

## 解禁

新聞

令和5年11月29日(水)付 朝刊以降

ラジオ・テレビ・インターネット

令和5年11月28日(火)

17時以降

# お知らせ

令和5年11月28日

課名	統計分析課 経済統計班
担当	渡辺、三宅
連絡先	(調査及び統計数値) 内線 2136 直通 (086) 226-7261
	(上記以外教育一般施策) 教育庁保健体育課 担当：松村・井上・古西 内線 4948 4949 直通 (086) 226-7591

## 令和4年度岡山県学校保健統計調査報告書の公表について

岡山県学校保健統計調査報告書は、国の基幹統計調査である学校保健統計調査の結果を踏まえ、県民の方により分かりやすく情報を提供することを目的に県で独自に作成し、公表しております。

このたび、令和4年度岡山県学校保健統計調査報告書を作成しましたので、お知らせします。

なお、過去10年における最大・最小値等の参考資料について、新たに作成し、後日、統計分析課のホームページで公表します。

### 1 報告書概要

#### (1) 発育状態

##### ① 概要

・身長の平均の推移は、親世代以降横ばい傾向である。

なお、前年度との比較では、ほとんどの年齢で上回っている。また、全国平均との比較では、ほとんどの年齢で下回っている。

・体重の平均の推移は、身長と同じ傾向となっている。

・肥満傾向児の割合は、男子で、10、16歳、女子は、16歳で前年及び全国平均より大幅に増加している。

・痩身傾向児の割合は、男子で、16歳、女子は、15歳で前年及び全国平均より大幅に増加している。

##### ② 調査項目別

###### ア 身長

・全国比較：男子は、8歳で同じ、11歳で上回り、他の年齢で下回っている。

女子は、5歳、7歳、12歳で上回り、他の年齢で下回っている。

・親世代比較：男子は、5歳、6歳で下回り、他の年齢で上回っている。

女子は、6歳、13歳、14歳で下回り、他の年齢で上回っている。

・男子では、7歳、8歳、11歳、12歳、13歳、女子では、5歳、7歳、8歳、10歳、

12歳で過去最高値となった。

## イ 体重

- ・全国比較：男子は、7歳で同じ、6歳、10歳、11歳、16歳で上回り、他の年齢で下回っている。  
女子は、7歳、12歳、16歳、17歳で上回り、他の年齢で下回っている。
- ・親世代比較：男子は、14歳で同じ、15歳、17歳で下回り、他の年齢で上回っている。  
女子は、15歳、16歳、17歳で下回り、他の年齢で上回っている。
- ・男子では、6歳～12歳（小学校では、すべての学年）、女子では、5歳、7歳、8歳、10歳、12歳で過去最高値となった。

## (2) 健康状態

### ① 概要

- ・裸眼視力1.0未満の者の割合は、年齢が高くなるにつれて増加傾向となっており、小学校では過去2番目、中学校、高等学校では、過去最悪となっている。
- ・むし歯（う歯）の者の割合は、昭和57年頃から減少傾向にあり、過去1番の改善となっている。
- ・アトピー性皮膚炎の被患率は、前年度より全て改善している。
- ・ぜん息の被患率は、中学校を除き全国平均を上回っている。また、親世代との比較では、被患率が2倍以上になるなど大幅に悪化している。

### ② 調査項目別

#### ア 裸眼視力1.0未満の者の割合

- ・前年度比較：小学校で下回り、幼稚園、中学校、高等学校で上回っている。
- ・全国比較：幼稚園、小学校で下回り、中学校、高等学校で上回っている。

#### イ むし歯の被患率

- ・前年度比較：幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも下回っている。
- ・全国比較：幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも下回っている。

#### ウ アトピー性皮膚炎の被患率

- ・前年度比較：幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも下回っている。
- ・全国比較：中学校で下回り、幼稚園、小学校、高等学校で上回っている。

#### エ ぜん息の被患率

- ・前年度比較：小学校、高等学校で下回り、幼稚園、中学校で上回っている。
- ・全国比較：中学校で同じ、幼稚園、小学校、高等学校で上回っている。

## 2 学校保健統計調査の概要（参考）

### (1) 調査対象

調査実施校に在籍する満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒の一部

### (2) 調査方法

文部科学大臣が指定した県内162校（園）の抽出調査

※調査実施校は毎年見直しを行っている。また、発育状態は調査実施校の各学年に在籍する者のうち13,267人を、健康状態は全員を対象に調査を実施している。

### (3) 調査時期

令和4年4月から令和5年3月の間に実施

※例年は4月から6月の間に実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から年度末まで延長。

このため本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできない。